

No. 86

6月定例会

令和8年8月21日発行

目次

定例会の概要	2
議会構成・議会用語解説	3
議案等審議結果	4
代表質問	5～7
一般質問	8～11
委員会報告	12～14
議員合同研修会・議会YouTube配信	15
議会活動日誌・編集後記	16

やまなし 市議会 だより

歳入歳出予算にそれぞれ6,706万円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ274億4,906万円とする、一般会計補正予算など17案件を可決しました。



令和8年7月3日 山梨市立山梨小学校 校外学習

6月定例会の概要

市長から提案された条例改正、令和8年度一般会計補正予算などの審議を行いました。

議案第54号

山梨市有害鳥獣処理施設設置及び管理条例について

有害鳥獣の駆除で生じる野生獣の山中放置による生活環境への影響を防止し、適切な処理及び処分を行うことができる施設を設置するため、条例を制定するものです。

議案第55号

山梨市ジビエ一次処理施設設置及び管理条例について

有害鳥獣の駆除で生じる野生獣の肉を地域の資源として有効活用するにあたり、一次処理を行うことができる施設を設置するため、条例を制定するものです。

議案第58号

令和8年度山梨市一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算にそれぞれ6,706万円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ274億4,906万円にするものです。また、繰越明許費については、橋梁長寿命化及び耐震化事業並びに消防ポンプ車購入事業について設定するものです。

【主なもの】

（総務費）

・区放送公会堂整備事業（389万円余）

（民生費）

・介護保険特別会計繰出金（85万円余）
・生活扶助基準改定に関する最高裁判決を踏まえた生活保護費追加給付事業（2,900万円余）

（消防費）

B&G財団の支援金を活用した防災拠点整備事業（3,329万円余）

議案第59号

令和8年度山梨市介護保険特別会計補正予算（第1号）

8月からの制度変更に対応するためのシステム改修費85万8千円を増額し、総額を歳入歳出それぞれ41億308万8千円とするものです。

議案第60号

山梨市民総合体育館改修建築主体2期工事（継続）請負契約について

山梨市民総合体育館改修建築主体2期工事（継続）について、請負契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第5号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分の範囲を定める条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものです。

議会構成の一部が 変わりました

令和8年6月定例会において、一部の委員会の委員に所属変更がありました。また、5月25日に新会派「そうざんかい創山会」が結成されました。各常任委員会、議会運営委員会、組合議会議員及び会派構成については下表のとおりです。

議会選出の監査委員に

土屋 裕紀 議員



土屋裕紀 議員

議会選出の監査委員として、土屋裕紀議員（上栗原）の選任に同意しました。

※6月30日現在

◎委員長 ○副委員長
◆総務常任委員会

会派構成（○は代表者）

◎岩崎友江 ○清水和美 糠信 平 萩原弥香 藤巻豊彦 村田 浩	◆建設経済常任委員会 ◎根津和博 ○長沼和人 榎野雅敏 星野 洋 矢崎和也 深沢敏彦	◆教育民生常任委員会 ◎木内健司 ○天野有紀 向山 輝 遠山雄二 島村雅美 土屋裕紀	◆議会運営委員会 ◎矢崎和也 ○藤巻豊彦 天野有紀 長沼和人 島村雅美 土屋裕紀	◆組合議会議員 〈東山梨行政事務組合議会議員〉 向山 輝 天野有紀 清水和美 矢崎和也 土屋裕紀 根津和博 岩崎友江 村田 浩 〈峡東地域広域水道企業団議会議員〉 遠山雄二 長沼和人 島村雅美 藤巻豊彦 〈山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員〉 萩原弥香 〈甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員〉 星野 洋 深沢敏彦
--	---	---	---	--

サンリ・みらい	日本共産党	赤松の会	公明党	創山会	新翔会	尚志会
○星野 洋	○糠信 平	○村田 浩 深沢敏彦	○木内健司 萩原弥香	○島村雅美 榎野雅敏 清水和美	○矢崎和也 土屋裕紀 根津和博 遠山雄二	○藤巻豊彦 岩崎友江 向山 輝 長沼和人 天野有紀

議会用語解説

～議会だより第86号に使用されている用語を解説します～

用 語	解 説
定 例 会	定期的に招集される議会のことです。山梨市議会の定例会の回数は年4回(3月、6月、9月、12月)と定められています。
議 案	議会の議決を必要とする市長または議員、委員会が議長に提出する案件のことです。条例の制定、改正、廃止、予算の決定、決算の認定などの案件があります。
一 般 会 計	特別会計、企業会計以外の全ての基本となる歳入歳出を計上した会計のことをいいます。
常 任 委 員 会	議会が条例で設置する委員会の内、一定の部門の当該地方公共団体の事務に関する調査及び議案、請願等の審査を行わせる委員会のことです。山梨市議会では条例で、総務常任委員会、建設経済常任委員会、教育民生常任委員会を設置しています。
専 決 処 分	議会が議決または決定すべき案件について、議会を招集する時間的な余裕がないときなどに、市長が議会に代わって意思決定をすることです。専決処分をしたときは、次の議会に報告して承認を求めます。
先 議	通常、議案はあらかじめ予定された採決日に議決しますが、その日を待たずに会期の途中で議決することをいいます。
請 願	国または地方公共団体等に意見や要望を伝えることができる制度で、議員の紹介があればだれでも文書を提出することができます。提出された請願書は委員会審査したうえで、本会議で採択か不採択かを決定します。

令和8年6月定例会議案等審議結果

6月定例会議案等審議結果（議長を除く）

（賛：原案に賛成

反：原案に反対

棄：棄権

/：欠席）

議案 番号	議員名 件名	遠 山 雄 二	糠 信 平	天 野 有 紀	長 沼 和 人	榎 野 雅 敏	島 村 雅 美	清 水 和 美	星 野 洋	矢 崎 和 也	土 屋 裕 紀	根 津 和 博	木 内 健 司	萩 原 弥 香	藤 巻 豊 彦	岩 崎 友 江	深 沢 敏 彦	村 田 浩	審 議 結 果
第50号	専決処分の承認を求めることについて（山梨市税条例の一部を改正する条例について）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	承認
第51号	専決処分の承認を求めることについて（山梨市都市計画税条例の一部を改正する条例について）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	承認
第52号	専決処分の承認を求めることについて（山梨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について）	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	承認
第53号	山梨市固定資産評価審査委員会委員の選任の承認を求めることについて	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	承認
第54号	山梨市有害鳥獣処理施設設置及び管理条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第55号	山梨市ジビエ一次処理施設設置及び管理条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第56号	山梨市行政手続条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第57号	山梨市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第58号	令和8年度山梨市一般会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第59号	令和8年度山梨市介護保険特別会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第60号	山梨市民総合体育館改修建築主体2期工事（継続）請負契約について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第61号	山梨市監査委員の選任について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
諮問 第1号	人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認 適 め 任 と
山議案 第1号	所得税法第56条廃止に関する意見書の提出について	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	賛	反	反	可決
山議案 第2号	核兵器禁止条約への日本政府の署名と批准を求める意見書の提出について	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	反	反	反	賛	賛	賛	賛	可決
請願 第1号	所得税法第56条廃止に関する意見書の提出を求める請願書	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	反	反	反	採 択
請願 第4号	核兵器禁止条約への日本政府の署名と批准を求める意見書の提出を求める請願	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	反	反	反	賛	賛	賛	賛	採 択



問 中東情勢の影響に伴う市民生活の対応について

①本市としてどのような考え方で予算措置をしていくのか。また、迅速な執行体制についてどのような考えているか伺う。②市独自の物価高騰対策をどのように講じるのか。また、生活者支援・事業者支援への検討状況について伺う。

市長 高木晴雄

答

①国の補正予算では総額3兆1,135億円が計上されたが、そのうち物価高騰対策の重点支援地方交付金は1,000億円の増額にとどまった。本市においては、今後示される国の対策内容や県からの通知、交付金制度の詳細を注視しながら、必要な支援策を迅速に実施してい

問 山梨市の教育ビジョンについて

く。また、予算措置は9月定例会を基本としつつ、市民生活への影響が深刻で緊急性が高い場合には、議会と協議のうえ専決処分も視野に機動的な対応を行っている。②中東情勢の不透明化により、医療や運送、商工業、農業など幅広い分野への影響が懸念されている。特にナフサ不足による資材供給の不安定化は重要な課題であり、本市は国に迅速かつ安定的な対応を求めている。今後も国・県の支援策や市民生活への影響を注視しながら、必要に応じて市独自の生活者・事業者支援を検討するなど、財源確保に努めつつ市民生活と地域経済を守るため機動的に対応していく。

①教育ビジョンが目指す子ども像と、地域社会像の基本的な考えについて伺う。②9年間の学びの連続性を教育実践にどのように落とし込み、授業改革や国際交流にどうつなげていくか伺う。③誰ひとり取り残さない教育の実現に向

け、不登校児童・生徒の支援や学びの場の連携について伺う。

教育長 竹川和彦

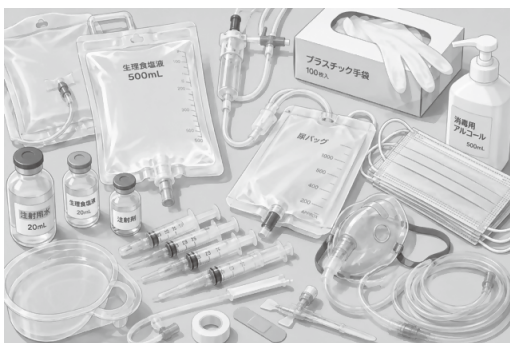
答

①地域資源を生かし、ふるさとを大切に世界とつながる力を持つ人材の育成を目指している。教育ファームや農業体験学習などの本物の体験と、学校DXによる個別最適な学び・協働的な学びを両立させながら、地域全体で子どもたちを支え、主体的に未来を切り拓く力を育む教育環境の充実を図っていく。②「笛川学園」をモデル校として、9年間の学びの連続性・系統性を生かしたカリキュラム開発を進めている。教科横断的な教育課程の編成や、探究的学習、問題発見・解決型学習の充実を通じて社会とつながる学びを推進する。また、教職員が共通認識のもと授業改善に取り組む体制を整えるとともに、英語教育や国際交流を充実させ、グローバル社会で活躍できるコミュニケーション能力の育成を目指す。③幼保小の連携やインクルーシブ教育、教育支援センター、フリースクールなど、多様な学びの場を重視している。また、「不登校対策検討委員会」を「学びの多様化対策検討委員会」へ改編し、

多様な選択肢を尊重する環境づくりを進める。今後は関係部署や民間施設との連携、ICTを活用した学習支援の充実、学校・家庭・関係機関が一体となって、誰ひとり取り残さない教育の実現を目指す。

＜その他の質問＞

- 農業用機械等購入及び施設整備支援補助金について
- 本市の観光施設について
- 放課後学童クラブについて
- 本市の地区公会堂（地域集会所）について
- 本市の水道事業について
- 万力公園の有効活用について



▲医療現場のプラスチック製品



問 クラインガルテン整備事業について

①地域交流や関係人口創出、成果指標、土地取得、事業スケジュールについて、市の考えを伺う。②ソフト事業や成果指標が未確定のままハード整備を進める妥当性と、先進自治体の事例・数値目標について伺う。

市長 高木晴雄

答

①本事業は、世界農業遺産の果樹地域での滞在や農業体験を通じ、観光以上・移住未満の「関係人口」の創出の核となる事業である。地域行事への参加は義務化しないが、自発的に参加したくなる体験プログラムを充実させ、契約内容も地域との関わりが生まれる形を検討する。交流事

業は四季に応じた開催を想定し、地域住民にも広く参加を募る。成果はイベント参加者数や訪問者数、将来的な移住者数などを指標とし、客観的な評価手法を構築する。土地は土地開発基金を活用して取得し、総事業費は年度内を目途に示す。工程は今年度設計、令和10年度造成着手を予定する。

農林課長 保坂真一

答

②基盤整備とソフト事業を一体的・段階的に進めることが最も効果的と考える。長野県、茨城県、南アルプス市、甲斐市などの先進事例を参考に、本市独自の事業モデルを構築する。利用者満足度80%以上、農業体験イベント参加率80%以上など具体的な数値目標を設定し、毎年達成状況を検証するとともに、世界農業遺産のブランド力を生かした特色ある事業モデルを構築する。

問

夜間における移動手段の確保とデマンド型交通「YamaRide」の利便性向上について

夜間需要の把握、運行時間延長、

夜間移動支援、地域経済への効果について伺う。

市長 高木晴雄

答

午後7時以降の需要は今後アンケート等で把握する。運行時間延長は山梨市地域公共交通協議会で利用状況やニーズ、ドライバード確保などを踏まえ検討する。タクシー事業者と連携した週末等の夜間支援も研究し、市民の利便性向上だけでなく、飲食店や宿泊施設への来訪促進など地域経済の活性化につながる交通体系の構築を目指していく。

問

通学路及び公共空間における倒木防止対策の強化について

街路樹や公共施設の点検・維持管理、市民通報システム導入について伺う。

建設課長 鶴田朋樹

答

日常パトロールや委託点検、専門業者による診断を実施し、危険木は剪定・伐採して安全確保に努めており、特に万力公園では毎年危険木調査を実施している。本年度導入する「スマホ市役所」システムにおいて位置情報付き写真による通報機能導入を検討し、DXを活用した安全対策を進める。

＜その他の質問＞

- ナフサ問題について
- 万力公園及び笛吹川河川敷における安全対策について
- 本市の指定管理者制度について
- 西沢溪谷におけるペット同伴登山・ハイキングの安全対策について
- 公共施設駐車場の有効活用と車中泊・RVパークを活用した観光振興について



▲デマンド交通に新車両お披露目会の様子



問 アザレアタウン整備事業について

①現在の事業進捗と今後のスケジュール感について伺う。②本事業を通じた山梨市の未来像について、市長の考えを伺う。

市長 高木晴雄

答

①現在、土地区画整理事業は、事業主体である組合において、地権者の意向を踏まえた換地設計業務及び区画道路等の実施設計業務を進めており、事業の根幹となる換地設計が令和9年度を目途に提示できる予定である。また、市が施工する都市計画道路「北中学校東通り線」は、昨年度から国の補助を受け、実施設計業務等を進めており、今年度、用地取得に向けた用地測量及び建

問 本市における事業の見直しについて

物調査業務を行っている。②本事業は単なる土地開発にとどまらず、若い世代をはじめ多くの方に選んでいただくために、「訪れたい」から、さらに「住みたい」「子育てをしたい」「学ばせたい」環境づくりが重要であると考え、進めている。

行政では「スクラップアンドビルド」という言葉が使われる。これは、新しい事業を始める際には、今行っている事業も見直し、本当に必要なものに人やお金を振り向けていくという考え方である。

①既存事業の見直しが十分に行われなければ、事業は増え続け、財政負担や職員負担の増加につながるが、本市ではどのような仕組みで事業評価を行い、その結果として事業の統合や縮小、廃止につながった見直しの事例があるか伺う。②「なぜその事業が見直され、別の事業は維持されるのか」と、市民の皆様には判断基準が見えにくい。どのような基準で優先順位付

けし、統合・廃止・縮小の判断につなげているのか伺う。

市長 高木晴雄

答

①本市では、客観性を担保するため、外部委員による評価を実施している。具体的に見直しの事例は、事業の効率性と真の必要性を検証した結果、「市民バスのデマンド型交通への転換」や「農工団地の計画エリア縮小」などを行ったことで、今後も聖域なき見直しに努める。

財政課長 中村裕機

答

②第一に「実績評価」、第二に「必要性・有効性・効率性」の検証、第三に「改善策の評価」の3つの視点に基づき、事業の優先順位付けと統合・廃止・縮小の判断を行っている。

問 自治体情報システムの標準化について

市民生活に直結する20の基幹業務について、国の定める全国共通システム「ガバメントクラウド」への移行が、令和7年度末までに完了するよう義務付けられたが、令和8年度を迎えた今、本市の現状について伺う。

企画推進課長 磯村賢一

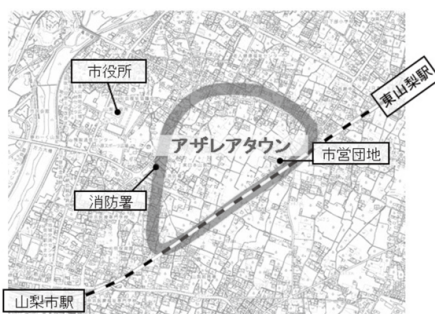
答

本市では国の指針に基づき、早期に移行計画を策定

し、万全の体制で準備を進めてきた結果、住民基本台帳や税、福祉、選挙等、対象となる20の基幹業務すべてについて、期限内に標準化移行が無事完了している。今後も行政手続きのオンライン化を加速させ、市民の皆様が「いつでも、どこでも」便利さを実感できるデジタル改革の推進に、全力で取り組んでいく。

その他の質問

- ふるさと納税における富士吉田市との連携について
- ガソリンの暫定税率廃止に伴う本市財政への影響について
- ドックラン整備の可能性について
- 本市の高齢者施設における外国人材の就労について
- 本市におけるスポーツ振興について



▲アザレアタウン整備予定地



萩原弥香 議員
公明党

問 「防災の日」にむけての取組等について

個別避難計画作成の取組と今年度の防災の日にむけて、防災対策をどう推進していくのか伺う。

市長 高木晴雄

答 日頃から心身の状況等を深く把握している福祉事業者に計画策定を委託し、実効性の高い計画作成を進める。防災危機管理課をはじめとする関係部署の連携を一層強化し、福祉事業者等と一体となった仕組みづくりも進める。9月1日が「防災の日」であるが、猛暑など気候変動の影響も考慮し、今年度は11月に日川地区での「避難所開設・運営訓練」を実施する予定である。

問 「生命(いのち)の安全教育」の取組等について

国では文部科学省と内閣府が連携し、学校等において「生命の安全教育」を推進するための、教材及び指導の手引きが作成され示されているが、本市のこれまでの取組及び今後の計画を伺う。

教育長 竹川和彦

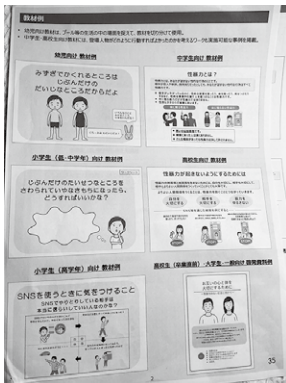
答

本市では児童生徒の発達段階に応じた体系的な教育を推進してきた。小学校5・6年生を対象に、養護教諭中心とした自身の体の大切さを理解することや他者との境界線を尊重することなどの学習を実施しており、低学年から移行期の小学4年生の対象拡大を視野に現在検討を進めている。中学校では3年間にわたり、性被害の防止、他者への加害防止、互いに尊重し合う関係性を築く学習を行っている。今後の課題は、SNS普及に伴うリスクへの対応等である。今後は医療関係者・外部有識者とも連携し啓発の充実に努めたい。

〈その他の質問〉

○「読書通帳」について

○学校における手話言語の普及の推進への取組について



▲生命(いのち)の安全教育 教材例



島村雅美 議員
創山会

問 クラインガルテン事業について

①本市の魅力を十分に堪能していただくための取組について伺う。②本市固有の地域資源を活用するための具体的な考えを伺う。③SNS等を活用したプロモーション強化について伺う。

市長 高木晴雄

答

①観光関係の各団体と緊密に連携し、利用者のニーズに応じた、年間を通じて楽しめるコンテンツの企画を検討していく。②霊峰富士を仰ぎながら眼下には甲府盆地を一望する絶景があり、近隣には笛吹川フルーツ公園や、ほったらかし温泉など、本市が誇る観光地が位置している。来訪者に魅力を伝えられるよう、ラウベ整備地の東側に一時利用者向けの魅力を発信するエリアの整備を検討している。また、利用者の方々には小中学校の教育ファームにオブザーバーとして参加していただき「農と教育」の魅力を体験できるような機会を検討してい

る。③利用者の方々が本市の美しい風景や農業体験の様子、地域住民との心温まる交流などを、SNSで発信していただけるようにしていきたい。

〈その他の質問〉

○自転車の交通反則通告制度について

○A-1を活用した市道点検事業について



▲佐久クラインガルテン望月

一般質問



木内健司 議員
公明党

問 新たな防災気象情報の活用と市民の避難行動促進について

新たな防災気象情報に対し、市の対応の変化はあるのか、また、市民が実際に避難行動を取れるかを把握するため、意識調査や実態調査の方針について伺う。

市長 高木晴雄

答 避難情報は気象庁や県の情報を総合的に分析し、国のガイドラインに即して作成したマニュアルを基本に判断している。今回の改定による大きな見直しはないが、字句修正等を随時行う。市民の備えは把握してきたが、避難行動の実態は未把握であり、今後調査を通じ課題を捉え意識醸成を進める。

問 地方創生RPGについて

山梨市を舞台にストーリー化した地方創生RPGは、幅広い層へのPR等、多様な可能性がある。市の見解を伺う。

観光課長 渡邊直人

答 地方創生RPGは本市の地域資源を物語として再構築し、若い世代を含む幅広い層に魅力を伝える有効な手法と認識している。観光振興や関係人口の創出にも寄与し得るが、継続的な運用が重要である。他自治体の事例を調査し、導入可能性を研究していく。

問 DXの更なる推進について

本市では防災、母子手帳、デマンド交通、広報など複数アプリを運用している。各種アプリの一元化は利便性向上や職員負担軽減に効果がある。アプリの一元化とDX推進について伺う。

答 本市は公式LINEを活用した「スマホ市役所」の構築を進め、手続きのオンライン化を推進している。複数アプリの一元化も利便性向上の観点から検討を進める。今後は利用ニーズの高い手

続きからオンライン化を拡大し、周知を強化しつつ、全庁的なDX推進で業務効率化を図る。

河川氾濫 1級河川22か所 2級河川10か所	大雨 1級河川22か所 2級河川10か所	土砂災害 1級河川22か所 2級河川10か所	高潮 1級河川22か所 2級河川10か所	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル5相当	警戒レベル5相当	警戒レベル5相当	警戒レベル5相当	命の危険 直ちに安全確保！
警戒レベル4相当	警戒レベル4相当	警戒レベル4相当	警戒レベル4相当	危険な場所から全額避難
警戒レベル3相当	警戒レベル3相当	警戒レベル3相当	警戒レベル3相当	避難に時間を要する人は早めに避難。避難の準備など
警戒レベル2	警戒レベル2	警戒レベル2	警戒レベル2	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル1	警戒レベル1	警戒レベル1	警戒レベル1	災害への心構えを固める

▲防災気象情報



天野有紀 議員
尚志会

問 屋内運動遊び場における相談支援機能の充実と子育て支援について

子育て不安や発達の悩み、不登校など、家庭が抱える課題は複雑化している一方、行政窓口へ相談することに抵抗を感じる方も多い。親子が日常的に集まる施設だからこそ、保健師や子育て支援員による相談や声かけ、交流事業などを通じ、自然な形で支援につなげることが重要である。屋内運動遊び場を単なる遊び場ではなく、子育て家庭を支える拠点として活用すべきと考えるが、この施設をどのように位置付け、相談支援機能や子育て支援の総合拠点として整備する考えがあるか伺う。

市長 高木晴雄

答 支援員を配置し、子育て家庭が気軽に相談できる環境を整えるほか、こども家庭センターと連携し、専門職による適切な支援につなげる体制を構築する予定である。保護者同士が交流できる環境づくりや、相談スタッフ



▲長野県長野市 屋内運動遊び場「ながのび」

問 生涯伴走支援DXの推進について

デジタル母子手帳を、妊娠・出産から高齢期まで切れ目なく支える「生涯伴走支援DX」の入口として発展させるなど、健康・福祉・行政手続きなどを一体化したデジタル基盤の構築と、市民の利便性向上・業務効率化について考えを伺う。

企画推進課長 磯村賢一

答 健康管理システムとの連携や「スマホ市役所」を推進し、市民の利便性向上と業務効率化を進めていく。

＜その他の質問＞

○未利用公共施設を活用した農業人材育成・技術継承拠点について



岩崎友江 議員

尚志会

問 山梨市有害鳥獣処理施設建設事業について

①施設整備の基本的な考え方について伺う。②この施設整備で現場の負担がどこまで解消されるのか伺う。③施設の役割について、軟化処理施設・ジビエ一次処理施設・小型焼却炉・事務所棟はそれぞれどのような機能を担うか伺う。④ジビエ加工の販売のお考えがあるか伺う。

市長 高木晴雄

答 ①近年、シカやイノシシなどの有害鳥獣による農作物被害が深刻化しており、鳥獣被害対策を総合的に推進するものである。②捕獲個体を搬入することで、減容化処理が可能となり、山中での埋設作業が不要となるほか、悪臭や鳥獣の誘引防止にもつながる。③軟化処理施設は、捕獲個体を微生物で分解し体積を削減する。小型焼却炉は処理過程で生じる皮や骨の残渣を焼却する。事務所棟は、施設の事務機能を担い、これらの施設は猟友会へ業務委託

を基本とし運用する。ジビエ一次処理施設は、捕獲時の良質なシカ肉を衛生的に処理保管し、指定管理者による管理・運営を行う。④販売や販路の確保は、指定管理者と協議し検討する。

問 ラーケーションの導入について

ラーケーションとは、学びと休暇を組み合わせた校外学習であり、年間3日間程度の範囲内で生徒は欠席扱いとならない制度である。

①ラーケーションの導入について市の考えを伺う。②ラーケーションを活用した場合の授業のフォローについて伺う。

学校教育課長 星野正裕

答 ①ラーケーションの導入については、慎重に検討する。

②先行自治体の例では「受け入れなかった授業は、教科書等を用いた家庭での自学自習を基本とする」としている。

〈その他の質問〉

○ヤングケアラー・コーディネーターの取組について

○クマ出没の被害対策について



▲有害鳥獣処理施設建設予定地
(牧丘町成沢 旧東山梨環境衛生センター跡地)



土屋裕紀 議員

新翔会

問 ふるさと納税を原資とする財源の活用について

ふるさと納税の成果や恩恵が市民に十分浸透しているとは言いがたく、「使途の見える化」が課題と考える。

①市民が実感できる施策に、どのように活用していくのか伺う。②市民や子どもたちが主体的に使い道を提案できる、市民参加型事業の仕組みの導入について見解を伺う。

市長 高木晴雄

答 ①今年度から拡充した「山梨市農業用機械等購入及び施設整備支援補助金」は身近な形で実感できる還元策の一つ。合計特殊出生率など様々な分野で成果が表れている。②既存補助金を更に発展させる為には、子どもたちや若者世代が主体的に関わるのが重要であると捉え、制度拡充に向け強力に進める。

問 各種補助金の周知と改定について

①市民が必要な制度にたどり着

きやすい環境づくりの進捗状況を伺う。②補助制度の効果や社会情勢の変化を踏まえた見直しを、どのような基準で行っているか伺う。③物価高騰が続く中、補助額や対象範囲について検証し、必要な制度改正を行う考えがあるのか伺う。

財政課長 中村裕機

答 ①ホームページで一括検索できる機能を近々利用で

きるよう進めており、広報誌等を活用した周知も検討する。②各所管課が主体となり社会情勢、効果市民ニーズ、財政など総合的に勘案し、継続や内容の適正化を判断している。③妥当性を改めて検証する必要性は認識しており、慎重かつ前向きに検討する。

〈その他の質問〉

○農業を支え継承される取組について

○下水道の不明水対策について

○行政DXとAI活用について



▲ふるさと納税をイメージしたロゴ案(生成 AI)

一般質問



榎野雅敏 議員

創山会

問 山梨市駅南口の利活用と本市成長戦略について

旧日本カーボン跡地を含む山梨市駅南口エリアは、本市の活力創出に向けた極めて重要なエリアと考える。現在の進捗状況および具体的なスケジュールを伺う。

市長 高木晴雄

答 山梨市駅に隣接するこの場所は、交流と賑わいを創出し、本市の成長を牽引し活性化の拠点となるものと位置付けており、本市の新たな「フンドマーク」となるような施設整備が必要であると考えている。また、本年2月には、公募型プロポーザルによる「基本構想」策定事業者の選定を行い、現在検討を重ねている。

問 山梨市地域ブランディング戦略における現在の進捗状況と今後の予定について

本市の地域ブランディング戦略の策定や推進を目的に昨年4月に企画推進課が設けられ、約1年が経過した。現時点の地域ブランディング戦略の進捗状況と今後の

取組について伺う。

企画推進課長 磯村賢一

答

市内外から「選ばれるまち」であり続けるための基盤づくりを進めている。昨年度は、市民ワークショップや市内外へのアンケート調査を通じ、様々な角度から精査・分析を行った。その成果として、本市の進むべき指針となる「山梨市地域ブランディング戦略」を策定し、ブランドメッセージ「いろあふれるし、山梨市」及びロゴマークを決定した。現在は、全庁的な推進体制の整備と、具体的な事業展開に向けた準備を進めている。

その他の質問

○空き家バンクの活性化について
○笛吹川県下納涼花火大会でのドローンショーの実施について



▲「いろあふれるし」のイメージ



糠信 平 議員

日本共産党

問 核兵器廃絶平和都市宣言について

核兵器廃絶平和都市宣言をしていくにもかかわらずホームページに未掲載だが、ホームページ掲載を含め平和啓発事業についての市の考えを伺う。

市長 高木晴雄

答 核兵器廃絶平和都市宣言について、ホームページに平和啓発事業の取組を紹介するページを設け、周知を図る。市が使用する封筒への記載は、効果なども考慮しながら検討する。懸垂幕については継続して設置し、常設の掲示物の設置は、諸条件を総合的に勘案する中で検討する。本市は山梨県非核宣言自治体連絡協議会に加入しているが、日本非核宣言自治体協議会への加入は調査・研究する。平和祈念式典への学生派遣事業を含むイベントへの参加についても、調査・研究していく。

問 国民健康保険税滞納時の対応について

国民健康保険税滞納時の対応と、国民健康保険税値下げのための基金の活用について本市の考えを伺う。

健康増進課長 望月誠

答

督促状送付後に訪問等による催告を行うが、相談支援に足りない場合や、特別な事情が認められない場合で、滞納が1年以上継続している世帯については、医療機関窓口での医療費支払いが一旦10割負担となる仕組みがあり、市へ申請することで、7割分を特別療養費として支給する。国民健康保険税値下げのための国民健康保険財政調整基金活用については、山梨県市町村国民健康保険連携会議における協議状況を総合的に勘案し慎重に検討する。

その他の質問

○「中東情勢悪化」に伴う市内事業者への影響と対策について
○生活困窮家庭へのエアコン設置補助制度について



▲核兵器廃絶平和宣言都市の懸垂幕

総務常任委員会

付託議案

議案第50号
議案第51号
議案第52号
議案第56号
議案第57号
議案第58号
議案第60号
請願第4号

専決処分の承認を求めることについて（山梨市税条例の一部を改正する条例について）
専決処分の承認を求めることについて（山梨市都市計画税条例の一部を改正する条例について）
専決処分の承認を求めることについて（山梨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について）
山梨市行政手続条例の一部を改正する条例について
山梨市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
令和8年度山梨市一般会計補正予算（第1号）関係付託部分
（2）総務費（9）消防費 第2表「繰越明許費」
山梨市民総合体育館改修建築主体2期工事（継続）請負契約について
核兵器禁止条約への日本政府の署名と批准を求める意見書の提出を求める請願

総務常任委員会

◎岩崎 友江 ◎清水 和美
糠信 平 萩原 弥香
藤巻 豊彦 村田 浩

採決の結果、賛成多数で「採択すべきもの」と決定した。

○議案第52号 専決処分の承認を求めることについて（山梨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について）

問 今回の条例改正に伴い、国民健康保険被保険者の負担額はどれくらい上がるのか伺いたい。

答 前年度に比べ、所得額の上昇及び子ども子育て支援金分が新たに追加となることから、平均一人5,000円程度の増額となる見込みである。

○議案第58号 令和8年度山梨市一般会計補正予算（第1号）関係付託部分について

問 歳出、2款総務費、1項総務管理費のうち、放送・公会堂施設関係経費について、公会堂の建て替えを行う場合の補助

制度について伺いたい。

制度について伺いたい。

答 山梨市地域集会所施設新・改築費等補助金交付要綱に基づき補助のほか、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業による補助制度がある。

問 歳出、9款消防費、1項消防費のうち、防災対策事業経費について、購入する機材のうち、救助艇についてその内容を伺いたい。

答 救助艇の配備については、B & G財団から防災拠点設置事業の補助を受ける際の必須条件となっており、浸水時に逃げ遅れた方の避難に使うことを想定し、FRP製のボートの購入を予定している。また、運用にあたっては、東山梨消防本部にも協力をいただく中で、運用方法について検討していきたい。

○議案第60号 山梨市民総合体育館改修建築主体2期工事（継続）請負契約について

問 契約の相手方が共同企業体となっているが、共同企業体の中の、代表構成員と構成員の違いについて伺いたい。

答 共同企業体に関する市の内規において、構成員に関する決まりが設けられており、代表者は施工能力の大きいものとなっている。

○請願第4号 核兵器禁止条約への日本政府の署名と批准を求める意見書の提出を求める請願

本請願の審査にあたり、各委員に意見を求めたところ、「全国でも採択例が多く、非核平和都市宣言を行っている本市においても、採択すべき。」との意見があり、



▲総務常任委員会での審査の様子

建設経済常任委員会

付託議案

議案第54号 山梨市有害鳥獣処理施設設置及び管理条例について
 議案第55号 山梨市有害鳥獣処理施設設置及び管理条例について
 議案第58号 令和8年度山梨市一般会計補正予算(第1号)関係付託部分

建設経済常任委員会

◎根津 和博 ○長沼 和人
 榎野 雅敏 星野 洋
 矢崎 和也 深沢 敏彦

○議案第54号 山梨市有害鳥獣処理施設設置及び管理条例について
問 山梨市有害鳥獣処理施設の完成及び稼働までのスケジュールを伺いたい。

答 スケジュールについては、本年9月頃からジビエ一次処理施設の指定管理業者の選定手続きを開始する予定である。また、建設工事は令和9年3月末までに完成させ、同年4月1日の供用開始を目指している。

○議案第55号 山梨市ジビエ一次処理施設設置及び管理条例について
問 ジビエ一次処理施設において、シカ以外の野生鳥獣を受け入れることは可能か。また、ハクビシンやアライグマ等が捕獲された場合の対応を伺いたい。

答 ジビエ一次処理施設での受け入れは、当面シカのみを対象としている。イノシシ等については、衛生管理上の課題や作業効率を鑑み、対象外としている。

また、ハクビシンやテン等が捕獲された場合は、放獣が原則であるが、特定外来生物に指定されているアライグマに関しては、県の計画に基づき適切な処分が可能である。

○議案第58号 令和8年度山梨市一般会計補正予算(第1号) 関係付託部分について
問 橋梁長寿命化及び耐震化事業費3億6千万円の繰越明許費のうち、最も予算規模が大きい箇所はどこか。また、進捗状況を伺いたい。

答 最も予算規模の大きい箇所は、神徳橋である。また、神徳橋においては、昨年度までに耐震改修工事を実施し、本年度においては、耐荷工事を進めていく予定である。さらに、耐荷工事完了後には橋梁の拡幅及びこれに伴う取付部の改良を進めていく計画である。

要望事項として、2点申し上げ

る。第1に、クラインガルテン事業については、事業目的や運営主体、財政負担、費用対効果、さらには土地取得の必要性に関する資料が十分に示されておらず、市民の理解が得られているとはいえない状況にあり、また、当初の事業計画から大きく変更となった点を踏まえても、事業内容が明確化され、審査に必要な資料が十分に整うまで、新たな土地取得を含む事業の推進については、慎重に進めていくことを委員会として強く求める。

第2に、道路施策の着実な実施について、現在、各区から提出された要望案件の中には、4年にわたり未着手のままであるものも存在している。行政においては、こうした地域の声を真摯に受け止め、可能な限り速やかな対応に努めるべきである。一方で、事業進捗の停滞背景には、技術職員をはじめとするマンパワーの不足や、限られた財源による優先順位の判断など、苦慮している現場の

状況も推察する。これらを踏まえ、現在策定を進めている「山梨市長期道路網整備計画」においては、これまでの計画を十分に検証し、地域の声を反映した、有効性の高い計画とすることを強く要望する。



▲建設経済常任委員会での審査の様子

教育民生常任委員会

付託議案

議案第58号 令和8年度山梨市一般会計補正予算(第1号)関係付託部分
議案第59号 令和8年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第1号)

教育民生常任委員会

◎木内 健司 ○天野 有紀
向山 輝 遠山 雄二
島村 雅美 土屋 裕紀

○議案第58号 令和8年度山梨市一般会計補正予算(第1号) 関係付託部分について

問 項 歳出、3款 民生費、3

成25年の生活扶助基準改定において、令和7年6月の最高裁において当時の保護変更決定処分が取り消されたことを受け実施する生活扶助費の追加給付について、支給事務対応の委託を予定している人材派遣会社は、これまでに同様の業務に対する実績があるのか。また、守秘義務に対する対応をどのようにしていくのか伺いたい。

答 委託を予定している人材派遣会社は、福祉課で行った物価高騰対策支援金の給付事務事業で派遣をしていた実績がある。守秘義務に関しては、労働者派遣契約条項にて確認するとともに、山梨市個人情報保護法施行条例を参照して取り扱っていた

問 前述の生活扶助費の追加給付について、対象者等か

ら想定される問い合わせは、どのようなものがあるのか伺いたい。

答 想定される問い合わせとして、現在は山梨市で生活保護を受けているが、以前は他の自治体で生活保護を受けていた場合の対応についてや、当時は生活保護を受給していたが、現在は亡くなってしまう方への給付の有無が考えられる。回答として、他の自治体で生活保護を受けていた期間の追加給付は、生活保護を受けていた自治体にご自身で申請をしていただくことになる。また、亡くなられた方は追加給付の対象にはならない旨をお伝えする。その他、対象者からの問い合わせについては、ホームページ等への掲載や、相談窓口の設置も検討していく。



▲教育民生常任委員会での審査の様子

○議案第59号 令和8年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第1号)

問 項 歳出、1款 総務費、1

和8年8月からの介護報酬改定に伴うシステム改修について、一般会計から財政調整基金を財源として、介護保険特別会計へ繰り入れているが、介護保険給付費支払準備基金を活用できなかったのか伺いたい。

答 介護給付費支払準備基金は、保険料の剰余金を積み立てたものであり、歳出の総務費には保険料を充てることができないため、一般会計からの繰入金での対応となった。

問 介護保険の負担限度額認定

定証について、多床室の項目が細分化され様式が変更になるが、利用者が新様式への更新手続きを忘れてしまった場合、どのようなか伺いたい。

答 介護保険負担限度額認定証は、当分の間、これを取



▲学校給食センターの視察の様子

り繕って使用できる旨の経過措置が設けられている。その後、申請を新たに行う方については、新たな様式で発行をしていくため、申請忘れは起きないと想定している。また、現在ホームページで周知を図っており、広報8月号でも周知を行っていく予定である。

※現地調査として、山梨市学校給食センターと、解体予定である八幡小学校のプールの視察を行った。

● 山梨市議会・山梨市役所課長会 合同研修会

令和8年7月28日、山梨市議会・山梨市役所課長会合同研修会として、地域・結婚支援アドバイザー 板本洋子^{いたもと ようこ}氏の講演会が、山梨市役所 502 会議室で行われました。

板本氏は、1980 年から結婚問題・少子化問題に関わり続け、現在は若者、親世代、行政、結婚支援関係者を対象とした講師として、全国적으로活躍されております。



▲講師 板本洋子氏

この日は、「少子化問題としての結婚支援事業の効果を考える」と題し、大変貴重なお話をいただくことができました。時代の変化とともに結婚の形や価値観が変わったこと、若者世代の結婚観に関するリアルな声、国や県の支援の内容とその課題、結婚支援だけでなく地域全体で若者を応援する仕組みづくりが必要であることなどについて、ご自身の経験から得た様々な具体例を交え、大変分かりやすくお話をいただきました。

結婚支援や少子化問題は地域の将来を左右する重要な問題であり、結婚支援のあり方などについて本市としてもしっかりと検討していく必要があると改めて認識する機会となりました。



山梨市議会をインターネットで見ることができます

山梨市議会の本会議の様子が、動画配信プラットフォーム『YouTube』で視聴できるようになりました。スマートフォンやパソコンから簡単に視聴できます。

YouTube チャンネル「山梨市議会」では、①当日のライブ配信、②本会議の動画（各日程全編 編集版）、③代表質問、一般質問の動画（議員毎に切り分けた編集版）（※②、③は、各日程終了後2週間前後にアップロード）を視聴することができます。



山梨市議会



▲YouTube チャンネル『山梨市議会』QR コード

議会活動日誌

6月

- ・令和8年6月定例会（6月1日～6月29日）
- ・第31回万葉うたまつりとホテル観賞会（12日）
- ・山梨南中学校学園祭・体育の部（13日）
- ・山梨市水防協議会（24日）
- ・議会運営委員会（26日）
- ・議員全員協議会（26日）



7月

- ・山梨小学校市内校外学習（議場見学）（3日）
- ・第22回山梨市少年野球大会（4日）
- ・新山梨環状道路整備促進期成同盟会総会（13日）
- ・甲府市議会正副議長就任あいさつ（17日）
- ・西関東連絡道路整備促進期成同盟会総会（22日）
- ・都市計画マスタープラン策定委員会（23日）
- ・山梨市夏をどりフェスティバル（25日）
- ・第67回笛吹川県下納涼花火大会（25日）
- ・議会運営委員会（27日）
- ・議員全員協議会（27日）
- ・議会だより編集委員会（27日）
- ・山梨市議会・山梨市役所課長会合同研修会（28日）
- ・山梨県高速道路整備促進期成同盟会通常総会（29日）
- ・リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会（30日）



8月

- ・第23回鼓川温泉灯ろう祭り（2日）
- ・シルバー人材センター要望書提出（5日）
- ・山梨県市議会議長会議員合同研修会（前期）（6日）
- ・第21回笛吹川源流まつり（15日）
- ・議会運営委員会（25日）
- ・議員全員協議会（25日）
- ・令和8年9月定例会（8月27日～9月28日）



9月定例会開催予定

- 8月27日(木) 本会議（開会）
- 9月9日(水) 本会議（代表質問）
- 10日(木) 本会議（一般質問）
- 11日(金) 常任委員会
- 14日(月) 決算特別委員会
- 15日(火) 決算特別委員会
- 16日(水) 決算特別委員会
- 28日(月) 本会議（閉会）

※全日程午前10時から開会予定
（決算特別委員会は、午前9時開会予定）

議員活動報告

令和8年6月12日、万力公園において、第31回万葉うたまつりとホテル観賞会の開会式が行われました。当日は多くの人でにぎわい、活気あふれる屋台やステージ発表が会場を盛り上げました。



「QRコード」読み取りで会議録などの情報を見ることができます。



委員長
副委員長
委員

岩崎 友江
根津 和博
木内 健司
向山 輝
矢崎 和也
遠山 雄二

一議会だより編集委員会

編集後記

残暑お見舞い申し上げます。毎日危険な暑さが続いておりますが、風に乗って聞こえてくる風鈴の音色に、暑さも和らぎ、心が癒されます。本誌では、6月定例会における議会構成の一部変更についても掲載しておりますので、ご一読いただければ幸いです。まだまだ暑い日が続きますが、熱中症には十分お気を付けていただき、この夏を乗り越えていきましょう。

岩崎 友江